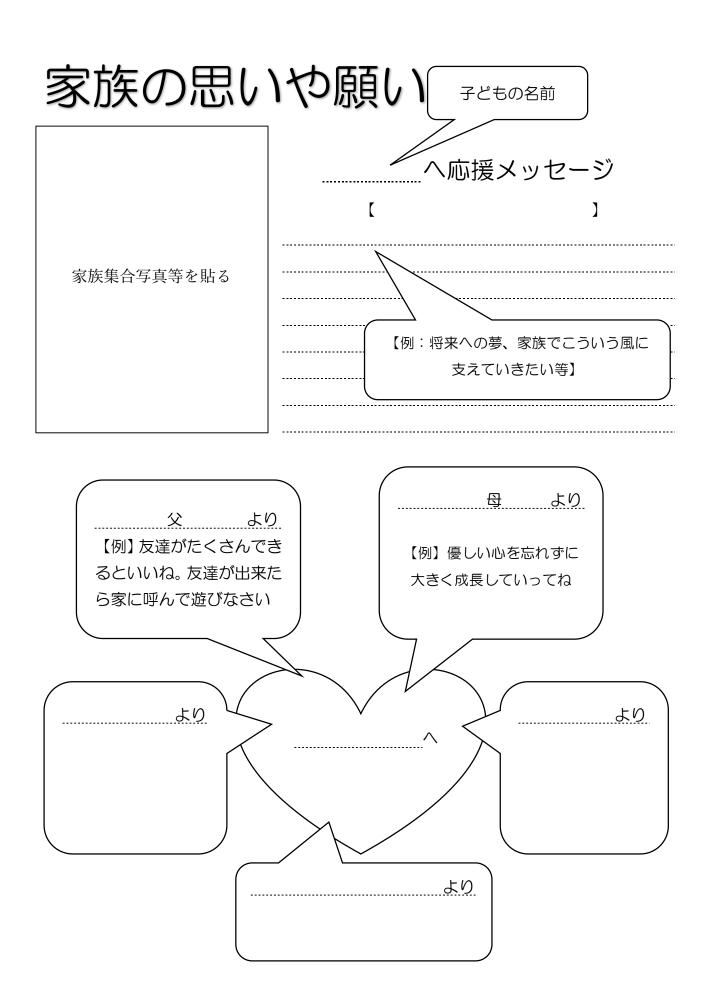
#### 使用される保護者様へ

# サポートブック使用時の個人情報の保護について

- 1. サポートブックは、お子様の理解や支援方法についての個人情報のほかに、支援者や関係機関に関する情報が多く含まれています。使用時には、個人情報の保護に十分配慮して慎重に取り扱ってください。
- 2. サポートブックの作成の主体及び所有者は保護者です。このサポートブックは、保護者様やご家族様によって作成するものです。内容に更新がある場合はその都度、内容を変更し差し替えたり追加したりすることをお勧めします。内容に不正解というものはありません。
- 3. サポートブックの使用にあたっては、本人の成長を一番の目的にご活用ください。このサポートブックは、保護者が許可した支援者だけが見ることができます。支援に関わらない第三者に情報を提供することや、保護者の承諾なしにコピーなどをして二次的に使用することを禁止しています。十分な配慮をお願いします。

作成:放課後等デイサービス事業所 幸愛



# ☆プロフィール

ふりがな	
<u>★名前</u> 男·女	
<u>★呼び名</u> ★ <u>血液型</u>	
★保護者 (続柄 )	
(続柄 )	本人の写真
★住所 〒	
<u>★連絡先 自宅 TEL</u>	
<u>携帯 (続柄 )</u>	
携帯 (続柄 )	
★出身園 電話	
★かかりつけ医療機関(主治医) 【例】 ○○病院 小児科	科 00先生 電話 000-000-0000
★療育手帳 有・無 その他手帳(	) ★投薬 有 · 無
★乳幼児からの生育歴や診断歴	
【例】〇〇週で出生。首すわり〇ヶ月。寝返り〇ヶ月	]。おすわり〇ヶ月。ハイハイ〇ヶ月。つかまり立ち
〇ヶ月。一人歩き〇歳〇ヶ月。言葉が遅い事や集団で	での行動が苦手なことがあり、○○療育センターで(
歳から療育を受ける。	
★相談・療育の経過	
【例】·〇〇療育センター 〇歳〇ヶ月から集団療	
【例】・○○療育センター ○歳○ヶ月から集団療 ・○○療育センター ○歳から行動訓練(2	
【例】・○○療育センター ○歳○ヶ月から集団療 ・○○療育センター ○歳から行動訓練(2  ★既往歴・現在治療中の病気・アレルギーなど	回/月)
【例】・○○療育センター ○歳○ヶ月から集団療・○○療育センター ○歳から行動訓練(2 ★既往歴・現在治療中の病気・アレルギーなど 【例】・平成○○年 ○月初めて○○病院で受診	回/月)
【例】・○○療育センター ○歳○ヶ月から集団療・○○療育センター ○歳から行動訓練(2 ★既往歴・現在治療中の病気・アレルギーなど 【例】・平成○○年 ○月初めて○○病院で受診 ・平成○○年 ○月に発達検査をしてもらう	回/月)
【例】・○○療育センター ○歳○ヶ月から集団療・○○療育センター ○歳から行動訓練(2 ★既往歴・現在治療中の病気・アレルギーなど 【例】・平成○○年 ○月初めて○○病院で受診 ・平成○○年 ○月に発達検査をしてもらう (次回は小学校1年生になって、	回/月) 夏休み頃の検査を予定)
【例】・○○療育センター ○歳○ヶ月から集団療・○○療育センター ○歳から行動訓練(2 ★既往歴・現在治療中の病気・アレルギーなど 【例】・平成○○年 ○月初めて○○病院で受診 ・平成○○年 ○月に発達検査をしてもらう	回/月) 夏休み頃の検査を予定)

# わたしはこんないいところがあります

#### 【例】

- 優しいところがあり、泣いている子どもがいると『どうした?』と 心配して声を掛けます。
- 『痛い!!』と言うと、『よくなーれ!』としてくれます。
- 困っているとお手伝いをしてくれます。

本人の良いところをいっぱい記入してください

人との関わり(兄弟・姉妹・友達・年上、年下の子・大人)

## 小集団での様子

#### 【例】

- 人見知りせず、誰にでも話しかけます。
- お友達の顔と名前を覚えることが苦手で、覚えていない子だと違うお友達の名前で呼んだりします。いつも遊ぶお友達だと名前を覚えます。
- 大勢での集会などは、不安になったり、落ち着きがなくなったりします。

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード) 【例】

- 初めての事や場所には不安を感じやすいので、事前にどんな事をするのか 伝えると安心して、活動しやすくなります。
- ・無理矢理行動させられるのが苦手です。押さえつけられたりすると怒り出し『やらない!!』と言ったりします。その時は一旦違う場所に連れて 行き、気持ちを落ち着かせて、戻ると頑張れる事があります。

※学校、療育機関、各福祉機関の先生方へ:『各関係機関の個別支援計画書』作成等にご活用ください。

# ことばとコミュニケーション

#### 【例】話し言葉・理解の程度(現在の状況)

・抽象的な言葉の理解が苦手なので、具体的にわかりやすく伝え、絵など視覚的な 情報を利用する方が伝わりやすいです。

> 本人にあった伝え方の手段を書くと、より一層適切な 支援が望めます。

#### 【例】コミュニケーションで特徴的なこと

・お友達との距離感の取り方が苦手です。知らない子にも話しかけたり、触ったり 並んでいると後ろからくっついたりします。

文字の読み書き

本人のコミュニケーション手段で言葉だけではなく、行動も書くと、より一層適切な支援が望めます。

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード)

・短い文章で、的確に絵や写真を使って伝えた方が理解しやすいです。

具体的な支援方法を!!

## 【例】感覚の特性(過敏・苦手なもの)

- ・寒いのが苦手・ネバネバ、ドロドロした食べ物が苦手・重いものが苦手
- ・痛いのが苦手
- ・ 蛍光灯の音が苦手

LED の蛍光灯に変えるなどの配慮をしてくれる可能性もあります。

#### 対処の仕方

寒いのは最初は嫌がりますが、身体を動かすとそのうち寒さを忘れてしまう。

# (^O^) 好きなこと

# () () 苦手なこと

## 好きなこと

## 苦手なこと

- 電車
- ・サッカー
- プラレール・昆虫採り
- ・レゴブロック ・TV ゲーム
- ・トミカ
- YOUTUBE
- 外遊び
- ・ドライブ
- 野球
- 買い物

- 読み書き
- 手先を使うこと

(鉛筆、絵、折り紙、はさみ、のり)

- 手を洗うこと
- 習字
- 見本となること

支援のしかた(こんな風にしたらう

好きなこと・苦手なことは、支援する上で重要 な役割を担います。

簡単なことから始めて、出来たことをほめて(大げさに)あげると自信がついて調 子が出てきます。

# 自由時間の過ごし方

# 家の中では

# 外では

- ・プラレール
- ・ブロック
- YOUTUBE
- TV ゲーム

- 遊具
- ・キックボード
- ・ストライダー

(ペダルなし自転車)

・ブランコ

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード)

- 楽しいとなかなか終わろうとしません。何時までと伝えたり(長い針が〇〇、短い 針が〇〇になるまで)、タイマーを使ったりするとやめます。
- ・それでもやめない時、片付けない時は"5・4・3・2・1・0"とカウントダウ ンをすると動きます。

※『好きなこと』は

ご家庭で実践している方法を記入していただく と、支援する側は非常に助かります。

りに活用しましょう。

年

月)

# 行動の特性 【例】

多動や落ち着き・注意力(現在の状況)

- ・集中は5分から10分くらいで落ち着かなくなります。
- 気になるものがあると見に行きます。
- ・集まり(集会や朝会など)には参加できますが、興味がないと集中力が続かず姿勢も 崩れます。

家庭や学校、習い事等での行動について書くと、本人が望ましい 行動をするための環境を設定しやすくなります。

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード)

- 事前に見通しを持たせると行動しやすいです。
- "これを頑張ることができたら、遊んでいいよ"などの声かけをしてやると頑張れます。
- ちゃんとできていることを、【その時に】大げさにほめてあげると頑張れます。

行動については、見通しを立ててあげるとスムーズに行動をする ことがあります。また行動ができたらほめることが大事です。

# パニック・不安

パニック・不安が起こりやすい場面・原因・その様子など

- 自分の思い通りにならないとパニックを起こします。
- 知らない場所や初めてのことには不安があります。
- 自分のペースじゃないとパニックを起こします。

場面や原因を書くと、支援者はパニックや不安を 回避するように支援することができます。

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード)

- 事前に何をするのかを説明してあげると不安が少なくなります。
- 手をつないだり、ひざの上に座らせたりすると、落ち着いて話を聞くことができます。

事前に説明する場合は、【いつ、どこで、どのくらい、なにをする】などの 細かい説明をすると効果的です。

# こだわり・くせなど 【例】

## 良いこだわり(いつ頃から)

- 弟ができてから、面倒見が良い。
- お母さんが困った様子でいると、気にかけてくれて自分からお手伝いをしてくれる。
- わからないことがあると聞いてくる。
- 一生懸命に物事に取り組む。
- やる気がある。
- 自分からあいさつができる。

良いこだわりは、本人の強みとなるので支援者はこういったところを伸ばすように支援することが出来ます。

## 悪いこだわり(いつ頃から)

- 指しゃぶりをする。
- 爪をかむ。
- ・なんでも1番が良い。
- ロより先に手が出てしまう。
- ・自分ルールが発動する。

悪いこだわりは、支援者としてはなるべく避けなければ ならないことですので、事前に知っておくと回避するこ とが出来ます

## くせなど

- においを嗅ぐ。
- ちょっとでも気にくわないことがあれば『もうしない!』と、したいのに逆のことを 言ってしまう。
- 相手が嫌がることをわざと言う。

こだわりと似ていますが、どちらに記入しても 構いません。

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード)

・発表会などでの練習が始まると爪をかむ行為が見られますが、無理にやめさせずに見 守っています。練習が終わると爪をかむことをしなくなります。

エピソード等を書くと、どの場面でどういう行為をするかわかりやすいです。また、支援者は行為に至らないように事前に配慮・工夫することができます。

※『こだわり』は良いことは伸ばしつつ、悪いことはしない環境を設定してあげることが望ましいです。

# 危険の認知 【例】

- 外では手をつないで歩くことができますが、気になるものがあると手を振り払い走り出していきます。
- 車道ぎりぎりのところを歩こうとするので、声かけをしながら歩いています。

命に関わることですので、支援者は止むを得ず本人の意思とは逆らうこと、すなわち身体拘束をする場合があります。支援者は人権を守るか人命を守るかの選択を掛けられますが、ほとんどが人命を取ります。こういった場合は、事前に身体拘束の同意を求められます。

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード)

- 手をつなぐようにして歩いています。
- 『〇〇(名前)、ストップ』と言うと止まります。

支援者は事前の配慮や工夫が求められます。

# あるとうれしい配慮

- お出かけをする際は、交通ルールの説明をしてほしい。その際は、絵などを使って 説明してほしい。
- 命の危険に関わることなので、真剣に取り組んでほしい。
- 言うことを聞かなかったら、怒っても良い。

支援者側からすれば、こういった保護者や利用者の意 見や要望が必要な場合があります。

# 日常生活 【例】

感覚過敏などの特性によるものもあります。

### 食事

#### 好きなもの

- ・カレー
- ・にんじん
- ・ラーメン・たまねぎ
- えび
- かに
- きゅうり

#### 苦手なもの

- 納豆
- オクラ
- ネバネバしたもの
- 豆腐
- もち

#### おやつ

#### 好きなもの

- ・ポテトチップス
- ・ゼリー
- アイスクリーム(ハーゲンダッツ)

こだわりもあります。

### 苦手なもの

- するめ
- ・こんにゃくゼリー
- ・ソフトクリーム

同じ種類でも食感が異なるものは苦 手という部分もあります。

# アレルギー

#### 無し

学校、児童発達支援、放課後等デイサービスなどで給食や弁当、調理実習、おやつ 等がありますが、事前に知ることで事故を未然に防ぐことができます

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード)

・苦手なものは保育園だと頑張って一口だけ食べてきますが、家では絶対に食べてくれません。

学校では調理実習、児童発達支援、放課後等デイサービスなどでは【食育】といった支援をするとこ ろがありますが、こういった支援により苦手なものを克服するといったこともあります。

#### 食事の際にあるとうれしい配慮

支援者の"あと一口だけ"といった声かけをしてくれると助かります。 もし食べることができたら、必ずほめてあげてください。

※食事について、学校では家庭や本人の事情により、給食ではなく持参弁当の場合があるかと思われま す。その場合は、サポートブックを事前に提示することで配慮しやすくなることがあります。

> (作成 年 月)

## トイレ 【例】

#### 現在の状況

・間隔が短い。・ほとんどが自分で行くことができますが、遊びに夢中になり、ちびったり、うんちがパンツについていたりすることがあります。うんちの時は拭き残りがないか確認しています。

現在、ご家庭での状況を記入してください。

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード)

- 和式のトイレはできないので、洋式のトイレに行くようにしています。
- ・服に手をあてソワソワしだしたら、トイレを我慢しているのでトイレに行くように 声かけをしています。

#### トイレの際にあるとうれしい配慮

- 同性介助をお願いします。
- 可能であれば、うんちの拭き残りがないか声かけをお願いします。
- ・万が一、失敗したら怒らずにシャワーをかけてあげてください。

## 衣服の着脱

排泄、排尿の介助に関しては、同性介助なのかを明確にしてください。

#### 現在の状況

- ボタンの掛け違いがあり、小さいボタンは特に苦手です。
- 自分で着脱ができますが、前後がわかりません。(無地の時)
- 裏返しを直すことができません。

現在のご家庭での状況を記入してください。

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード)

・余裕のない服を脱ぐときは、腕のところを抜くことが苦手です。『かたい』と言ってくるので、 袖を引っ張って手伝ってあげています。

自分でできないこともあるので、支援の有無を記入してください。

#### 衣服の着脱の際にあるとうれしい配慮

- 同性介助をお願いします。
- できることは自分でさせてください。

衣服の着脱介助に関しては、同性介助なのかを明確にしてください。

※トイレについては、洋式トイレと和式トイレについてアドバイスをいただけると助かります。

## 睡眠 【例】

#### 現在の状況

- 遊びに夢中になり、寝る時間がすぎてしまうこともあるが、声かけをすると寝てくれる。
- 翌日が学校の場合は、早起きをするが、休みの場合は昼前くらいまで寝ているときがある。

薬の副作用で睡眠障害になり得ることがありますので、医師に確認してください。

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード)

ほとんど声かけで対応ができています。

修学旅行や入所施設での対応となりますが、他に1日の生活にも影響しますので、できる限り記入してください。

#### あるとうれしい配慮

・寝る時間が過ぎそうな場合は事前に何時に寝て、何時に起きるのかの声かけや確認などをしていただけると助かります。

## 理解(認知) 【例】

#### わかること

- じゃんけんの勝ち負け
- 数の概念(1から5くらいまで)

#### わかりにくいこと

- 集団遊びのルール
- "あれ"、"これ"、"それ"などの言葉 での理解

どこまでを理解(認知)しているのかを記入してください。

支援のしかた(こんな風にしたらうまくいった or いかなかった等、エピソード)

- 集団でのルール遊びより、ままごと遊びなどの静かな遊びの方が好きです。
- ・ドッヂボールではルールがわからず、ボールを当てられたと思い怒ってしまいます。
- 一人遊びも好きです。

個別療育、集団療育などの場で訓練することができます。

#### あるとうれしい配慮

- ・無理に集団の中に入れずに、自分の意思で小集団あるいは集団の輪に入れるように 支援してほしい。
- 遊びや訓練、活動を通して理解してほしい。

利用者や保護者の思いを尊重して支援していきます。

※『睡眠』については、障害児入所支援事業所(短期入所等)で活用することができます。

## これまでに受けた発達検査等 【例】

・平成30年 7月5日 田中ビネー式知能検査

病院、児童相談所、学校等で受けた検査等を記入してください。

## 投薬の内容・注意事項 【例】

- 自分で服薬できますので声かけしてください。
- ・舌下錠は飲み込まないように声かけしてください。

服薬は医療行為と指摘される可能性がありますので記入してください。

その他(支援者に知ってほしいことやお願いしたいことなど) 【例】

本人が学校や事業所などで有意義に生活を送っていく中で、どう いった支援が必要なのかを知るために、子どものことはもちろん、 保護者の想いなどの情報が不可欠となります。学校の先生方や支 援者の方々は、子どもたちのために日々支援に取り組んでいます。 また将来、社会に出たときに自立できるように、子どもの特性に 合った適切な支援を心掛けています。その支援のヒントとなるよ うに、この『サポートブック』というものがあります。ぜひ『サポ ートブック』をご活用していただけたらという思いで、今回作成 に至りました。

放課後等デイサービス事業所 幸愛 浅川 武彦

# 1日の過ごし方 【例】

平日

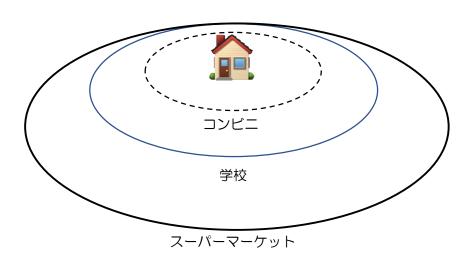
時間	行 動
6:30	起床
7:00	着替え・朝食
7:30	登校
12:00	給食
15:00	下校
15:30	帰宅
18:30	お風呂
19:00	夕食
	自由遊び
22:00	就寝

休日

時間	行 動
9:00	起床
9:30	着替え・朝食
	自由時間
12:00	昼食
	家族で外出、遊び
	自由時間
	おやつ
18:30	夕食
19:00	お風呂
	自由遊び
22:00	就寝

# 行動範囲

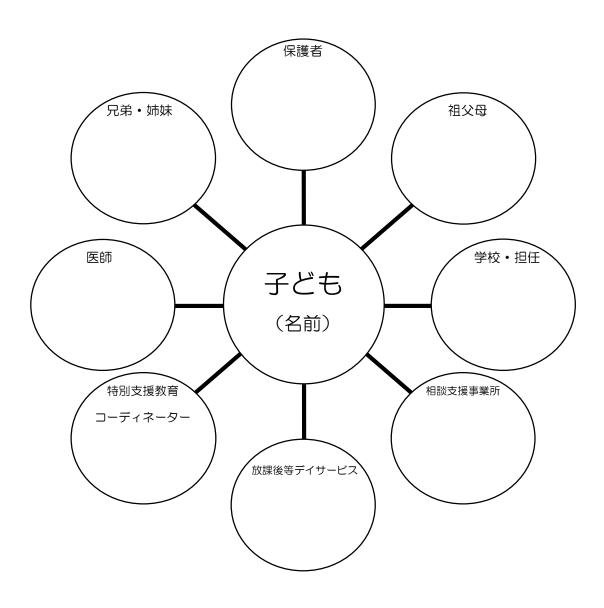
- 1. 子どもだけで行く所 ----- (徒歩)
- 2. 保護者と一緒に行く所 ---- (徒歩) ---- (車)
- 3. 家を中心に放射状に線を引いてください(例:公園、コンビニ、幼稚園、保育園など)



# 支援者する人に見てほしいもの 写真・コピー・実物で伝えましょう

例:子どもの好きなこと、もの、子どもの作品(文字や数字、絵、工作、折り紙、ブロック、特徴的なポーズの写真、家庭で使っている支援ツールや支援の為の環境の設定に関するもの)など支援で役に立つかもしれないもの

# 子どものサポートネットワーク



中心点は子どもで、子どもを取り巻く環境を、線で結んでいきましょう